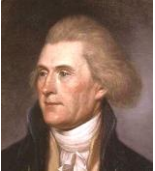




第 131 回 アメリカ合衆国の発展

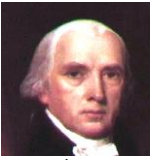
1 アメリカの拡大

- ・アメリカ合衆国は、1783年のパリ条約によって正式に独立が承認された。
→1787年の（ ）によりアメリカ連邦政府を発足させた。
※中央政府の権限については、連邦派と反連邦派の対立があった。
- ・19世紀に入ると、（ ）によりその領土を拡大させていった。



トマス=ジェファソン
第3代大統領。独立宣言の起草者。

- ◆（ ）（在任 1801～1809年）
 - ・1803年、フランスから（ ）を購入した。
→アメリカの領土は一挙に2倍となり、西部への進出が活発となった。
 - ・ナポレオン戦争ではワシントン以来の中立政策を守ったが、イギリスが貿易や通商の妨害を行ったため、イギリスとの関係が悪化した。



マディソン

- ◆マディソン（在任 1809～1817年）
 - ・1812年、（ ）が始まった。
→アメリカは保護関税法で国内の産業を保護するなど、経済的にも精神的にもイギリスから自立していった。



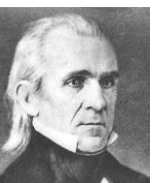
モンロー
第5代大統領。独立戦争に参加した最後の大統領。

- ◆（ ）（在任 1817～1825年）
 - ・1819年、スペインから（ ）を買収した。
 - ・このころヨーロッパ諸国は、中南米諸国の独立へ干渉をしていた。
→1823年、モンローは、ヨーロッパとアメリカの相互不干渉を宣言した。
→この声明を（ ）という。
※またこの相互不干渉政策を（ ）という。



ジャクソン
第7代大統領。オールド=ヒッコリーと呼ばれた。

- ◆（ ）（在任 1829～1837年）
 - ・独立13州の出身ではない初の大統領で、（ ）と呼ばれる政治改革を行い、選挙権の拡大など民主主義の発展に努力した。
→しかし（ ）は維持され、（ ）などの先住民は（ ）でミシシッピ川以西の保留地に追放された。
 - ・南部を中心とするジャクソンの支持者が、（ ）を結成した。



ポーク
第11代大統領。入試にはまず出ない人です。

- ◆ポーク（在任 1845～1849年）
 - ・1845年、アメリカ系住民が多く、メキシコから独立した（ ）を併合し、1846年にはイギリスとの協定によりオレゴンも併合した。
 - ・1846～1848年、（ ）の結果、（ ）を獲得した。

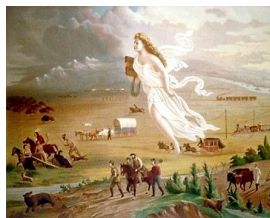
2 アメリカの西漸運動とその背景

・1840年代、西部開拓は、神から与えられた「
 であるという考えが生まれ、積極的な開拓が行われた。
 → () と呼ばれる境界の未開拓地は西に移動していった。



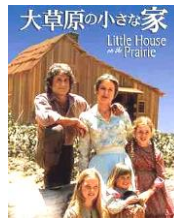
チェロキー族「涙の旅路」

西部開拓は、先住民の土地を暴力的に奪うことにつながった。追いやられた先住民は過酷な運命をたどり、オクラホマに移動したチェロキー族は、途上で4人に1人が死んだとされる。



「アメリカの進歩」

右手には書物、左手には電信を持ち、西部を「文明化」していく様子が描かれている。背後には大陸横断鉄道も見える。



「大草原の小さな家」

1870年代の、フロンティアにおける家族の生活を描いた作品。フロンティア=スピリットという言葉を知っていますか？

- ・1840年代から1850年代には、() の大飢饉やドイツ地域の政治不安から、多くの貧しい人がアメリカに() として移住した。

※1821~1920年の100年で約3300万人が移住。

- ・アメリカ=メキシコ戦争直後の1848年、カリフォルニアで金鉱が発見された。

→翌1849年に、アメリカやヨーロッパをはじめ全世界から人々が殺到した。

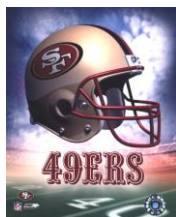
→これを() といひ、移民の増加と西部開拓をさらに促した。

※太平洋側では、()、19世紀末には日本からの移民が増加。



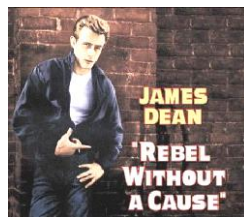
金を掘る人たち

金という鉱物は、古来より世界史を動かしてきた。人間は哀しいことに、金という光る石に目がくらむ生物なのである。まさに「ヤフー」です。



サンフランシスコ 49ers

アメリカンフットボール(NFL)のフォーティーナイナーズというチーム名は、ゴールドラッシュに由来する。



ジェームズ=ディーン

ジーンズが若者のファッションとなったのは、映画『理由なき反抗』が大ヒットしてからである。入試には絶対出ませんけど…。

- ・1853年、アメリカは、日本に開国をせまるため() を派遣した。



小学生でも知っている人ですね。ではこの人はなぜ1853年に日本に来たのでしょうか？

